

ユーザーからの要望

2019年度MLFユーザアンケート のコメントから

2020年4月24日

MLF利用者懇談会

各質問項目におけるコメント数

	本年度/昨年度	()内:英語コメントの内数
1. 課題申請		
1-1) 課題申請手続きの簡潔性	22(5)/26(7)	
1-2) 課題申請手続きのスケジュール	20(5)/17(2)	
1-3) 課題申請手続きの公正性	17(5)/15(4)	
2. 安全教育		
2-1) コンピュータを用いた教育効果	15(6)/14(4)	
2-2) 安全教育のコンテンツ	17(5)/18(9)	
3. 支援施設		
3-1) ユーザーラボ実験室	17(5)/13(3)	
3-2) ユーザーラボの機器や供給品	16(4)/7(3)	
3-3) ビジター向けのコンピュータ/ネットワーク環境	16(4)/16(6)	
3-4) ユーザー控室	15(4)/16(2)	
3-5) 休憩室/軽食コーナー	18(6)/23(5)	
3-6) 宿泊施設	26(6)/38(13)	
3-7) 運転状況	22(7)/19(7)	

各質問項目におけるコメント数

本年度/昨年度 ()内: 英語コメントの内数

4. 試料環境

4-1) 利用できる試料環境	11(3)/15(2)
4-2) 試料環境サポート	11(3)/14(4)
4-3) 機器・設備の質と信頼性	12(4)/7(2)

5. 装置の性能

5-1) スタッフからのサポート	22(10)/23(10)
5-2) ハードウェアの信頼性と性能	10(3)/8(2)
5-3) データ取得/装置制御のソフトウェア	15(4)/19(7)

6. ソフトウェア(データ解析ソフトウェア)

6-1) ソフトウェアの質	15(6)/14(7)
6-2) ソフトウェアの性能範囲	10(5)/3(3)
6-3) スタッフからのサポート	12(5)/9(4)
6-4) ソフトウェアのリモートアクセス	7(2)/9(1)

総合コメント

45(15)/42(18)

要望1（昨年度の要望1、2と同様）

1. 課題申請

- 申請から実験時期までの期間の短縮
- 審査基準の明確化や審査結果に対する申請者の声を聞く仕組みが必要

具体的なコメント例

- 申請から実験までのスケジュールがもう少し短い方が望ましいです
- 11課題申請時期が早すぎる。その前の期のチームタイムが消化し切れていないので。PAC委員として内部を見ていると、レフェリーコメントを集めてから、PACミーティングまでに期間が長いので、もっと申請時期を遅らせることができると思う。
- 12MLF側から示されている審査基準・ガイドラインが曖昧。例えばP型課題の対象をどこまでとするか（ヘヴィーユーザーが新しい試料の実験を行うためにP型課題に申請するのは有りなのか？教育的側面や新規ユーザーのウェイトをどの程度とするか等。審査員によるばらつきが大きいと思われる。また審査員により注目、重要視する視点も異なると思われる。
- Selected reviewers are opinionated and their judgements are not always fair or scientifically sound.

要望2

3. 支援施設

- 充実した食事がとれる場の提供
- 自販機・売店などの飲食物提供環境の改善
- ドミトリーとMLFとの安全な移動手段の確保

具体的なコメント例

- もっと潤いがあってもよいと思いますし、売店の営業時間が短い。また自動販売機の品目が少なく、殆ど役に立たない。もう少し食事らしいものを提供しても良いと思います。
- 食事環境の充実をはかって欲しい。ずっと要望があるにも関わらず、いっこうに変わっていないのではないか。
- 周辺に飲食店が少ないので、せめて食事がとれる場所がほしい。
- つくばのドミトリーにはファミリーマートの自販機が設置されているが、東海でも同様の自販機を設置できないのか？
- J-PARCと宿舎の距離がありすぎる。近い場所にあるべき。
- ドミトリーとMLF棟の間でオンデマンドバスの運行があると助かる
- 老朽化した貸出自転車が増えている印象。

要望3

3-3)PC/Network環境&6. ソフトウェア

- ネットワーク環境の強化
- リモートアクセス性の向上

具体的なコメント例

- データのダウンロードが困難。もっと外部の方々へのアクセスの簡便化を。
- 外部からデータにアクセスできないのは致命的
- 週末、休日に到着した場合、GWLANのキーが取得できずに困る。
- そもそも現状リモートアクセスはできないのでは？
- 所外の方にはアクセスできないといわれています。
- 一部のビームラインに導入されていますが、ドミトリーなど外部から実験状況をモニターできると非常に安心できます。

要望4

総合コメント(その他)

ビームライン停止/再開のアナウンス時期・方法 のユーザーの立場に立っての適正化

具体的なコメント例

- 今年度、トラブルによるビームタイム開始の延期があったが、本来なら11/5からビームタイムが始まるところ、公式発表が為されたのが11/5であった。トラブルは仕方が無いが、もっと早くわかっていたはずなのにビーム再開のその日にしか再開延期の公式アナウンスを流せないのはなぜなのか。・・・(中略)・・・1両日内くらいに情報が流れてくる。そのときに再開の目処が立っていない場合は、何時何時に続報を送る、と言う旨が送られる)。また、こういった連絡は、今期から初めてMLFを利用するユーザーには全く届いていなかった(実験しないとMLに登録されない?)。もっと、MLFからユーザーへの公式な連絡を密に行って欲しい。
- 時々ユーザーズオフィスから送られてくるお知らせが、唐突過ぎて困惑する。挨拶文も対象者宛もなく、急に”システムが停止します”、”停電します”というメールが来ても、ジャンクメールかと思う。改善をお願いします。

まとめ

- アンケートの回答内容は、全体的に昨年度と比較して大きく変わっておらず、改善の跡が感じられない。
- 審査プロセスにおける不公平感や不透明感は、相変わらず根強い。
- 供用施設として、スタッフの人的な対応や貢献の評価は高いが、装置やソフトウェアについては、ユーザー利便性の観点での一層の改良が望まれている。
- 宿舎など厚生関連の支援施設についてのアンケート回答は、昨年度の繰り返しが多く、全く改善がない様子である。

総合コメントより

毎年、量子ビームサイエンスフェスタにおいて利用懇からの問いに対して、「検討します」という返答をしてる案件がいくつかあると思うが、その後のフォローが無い。例えば昨年指摘されて、検討することになった内容は、どうなったのか？